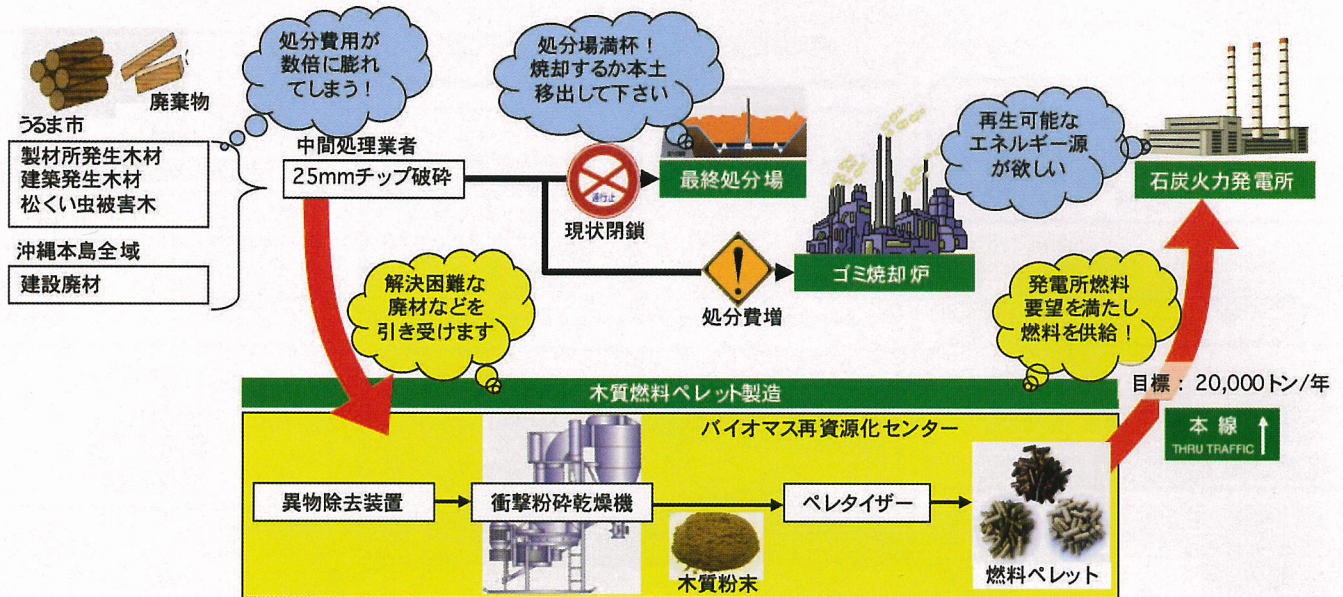


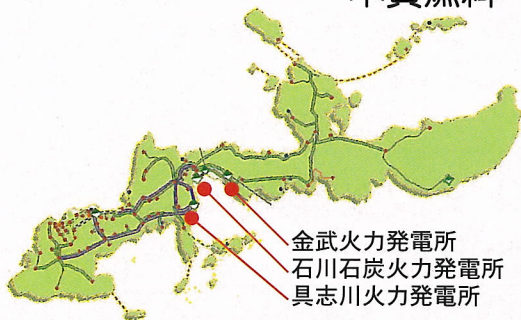
バイオマス再資源化センター「ペレット工場」

木質燃料ペレット化による効果 ①

沖縄県内の木質系廃棄物は管理型最終処分場の閉鎖に伴い、処分が困難な状態となっている。このままでは、県外へ輸送費をかけて持ち出するか、または処理費をかけてゴミ焼却炉で処理するかのいずれかを選択するしかなく、処分費増加は避けることができないため、産業圧迫へと繋がる恐れが高い。他方・電力会社では地球温暖化対策としてバイオマスエネルギー利活用のニーズがある。そこで、本事業においては、利用先となる電力会社の発電設備に不具合を与えないレベルまで異物除去し、燃料品質を確保（水分調整）し、安定供給を図ることで、「再生可能エネルギーの大幅導入」と「行き場の無い木質系廃棄物」の橋渡しを実現する。



木質燃料ペレット化による効果 ②



県内3箇所の石炭火力発電所で混焼し、高効率なエネルギー変換を図る。



具志川火力発電所

出力: 1号機 156 MW
2号機 156 MW
燃料消費量: 100t/h
想定利用率: 80%



金武火力発電所

出力: 1号機 220 MW
2号機 220 MW
燃料消費量: 140t/h
想定利用率: 80%



石川石炭火力発電所

出力: 1号機 156 MW
2号機 156 MW
燃料消費量: 100t/h
想定利用率: 70%

全ての発電所で 3wt% の混焼が実現すると・・・

石炭消費量: 約 230 万ト/年間

必要固形燃料量: 約 7 万ト/年間 (固形分)

実際に利用可能な量は・・・

利用固形燃料量: 約 2.0 万ト/年間 (固形分)

二酸化炭素削減量

約 4.0 万 t-CO₂

沖縄県削減目標 100万 t-CO₂

の 4.0% 相当

木質燃料ペレット製品化までの流れ③

中間処理業者（既存チップ加工）



廃木材

破砕機

磁選機

チップ

鉄・磁性金属
を除去

原料ヤード



チップ

磁選機

鉄・磁性金属
を除去

乾式異物除去装置

コンクリート
非鉄金属類
その他を除去

衝撃粉碎乾燥装置

粉碎・乾燥



木質粉末

スクリーン
フィルター

廃プラ・ゴム・
その他を除去

ペレタイザー



製品ペレット

製品

株式会社 バイオマス再資源化センター